

## (市政への市民参加)

修正① (3/9時点)

(市政への市民参加)

第6条 市民は、市政に参加する権利を有する。

2 市は、市民生活に影響を与える重要な条例の制定及び改廃並びに計画等の策定及び改訂をする場合においては、課題の特定、解決案の検討、決定、実施、評価等(以下「政策過程」という。)の各段階に、多様な手段で市民誰もが参加できるよう努めなければならない。

3 市は、市民参加の機会が、実りあるものとなるよう努めなければならない。

4 市民は、市政に参加しないことを理由として、不当な扱いを受けることはない。

## 【解説】

本条は、市政の基本原則として市民参加について規定したものです。

第1項では、主権者である市民に市政に参加する権利があることを定めています。第2項では、市の政策に、多様な市民の豊かな意見を活かすため、市政の政策過程の様々な段階に多様な手段で市民誰もが参加できるよう定めています。第3項では、参加の機会を「実りのある」ものとするよう努めることを定めています。第4項では、参加は権利であって義務ではないことから、「参加しないことを理由として、不当な扱いを受けることはない」ことを定めています。

修正② (3/13時点)

(市政への市民参加)

第6条 市民は、市政に参加する権利を有する。

2 市は、市政における重要な事業、計画、条例について、その政策過程(課題の特定、解決案の検討、決定、実施、評価等)の多様な段階で市民の参加を得るよう努めなければならない。

3 市は、市民参加の機会について、市民誰もが参加しやすい対話や意見交換の場となるよう手段を講じ、参加を実りあるものとするよう努めなければならない。

4 市民は、市政に参加しないことを理由として、不当な扱いを受けることはない。

## 【解説】

本条は、市政の基本原則として市民参加について規定したものです。

第1項では、主権者である市民に市政に参加する権利があることを定めています。第2項では、市民の参加を得て市政を進めていくために、市民参加の対象について定めています。第3項では、市民誰もが参加できるように手段を講じ、参加を実りのあるものとするよう定めています。既に、市長らが各地域へ行き地区要望の進捗状況や重要な施策について意見交換等をする「市長のふれあいトーク」や、市に対する要望、提案などが見える化した「ひみボイス」、「市民の声・市民要望システム」などを導入し、市民の意見や要望の把握に努めています。また、新市庁舎移転整備事業や氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定などでは、対話やワークショップを重ねながら課題やアイデア、視点などをいただき実りのある市民参加が行われてきました。第4項では、参加は権利であって義務ではないことから、「参加しないことを理由として、不当な扱いを受けることはない」ことを定めています。

## (市政への市民参加)

### <第 19 回検討委員会からの修正案>

#### 条文構成

第 6 条 (市政への市民参加)

第 1 項・・・市政に参加する権利

第 2 項・・・参加の対象

第 3 項・・・参加の手段、キーワード「対話」「市民誰もが」

第 4 項・・・権利であって義務ではない

#### 1 修正②のポイント

##### (1) 第 2 項

「市政における重要な事業、計画、条例」と具体的に規定しました。

##### (2) 第 3 項

キーワードを盛り込みました。

##### (3) その他

解説を充実させました。